

令和3年10月20日

関係各学校長 殿  
関係各位

奈良県立青翔高等学校・青翔中学校  
校長 藪田 真孝

「探究的な学びに関する授業改善シンポジウム」の開催について（案内）

秋冷の候、貴台におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育の充実・発展にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本校では、令和3年度に文部科学省より第3期のスーパーサイエンスハイスクール研究開発校の指定を受け、「中高6年で拓くサイエンスイノベーターへの道 ～古都奈良からの挑戦～」を研究開発課題に掲げて初年度の取組を推進しており、その一環として、「探究的な学びに関する授業改善シンポジウム」を開催いたします。つきましては、探究的な学びとその評価の在り方に重点をおいた公開授業をオンデマンドで配信し、東洋大学 食環境学部 教授 後藤 頭一 氏に講演いただくとともに、学校設定科目「探究科学」における科学的リテラシーの向上とその客観的な評価を中心に、生徒を主体にした授業について下記のとおりオンラインで協議いたします。ご多用とは存じますが、ご参加いただき、ご意見とご指導をいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

- |   |      |  |
|---|------|--|
| 1 | 日 時  | 令和3年11月20日（土）                            |
| 2 | 実施形態 | Web(Zoom)によるライブ配信および授業動画視聴による参加          |
| 3 | 募集対象 | 県内外小・中・高等学校教員 大学教員 教育関係者                 |
| 4 | 日 程  | 8:30～ 9:00 Webでの教室入場完了                   |
|   |      | 9:00～ 9:10 開会挨拶                          |
|   |      | 9:10～ 9:40 授業動画視聴                        |
|   |      | 9:40～ 9:45 講師紹介                          |
|   |      | 9:45～10:45 後藤先生のご講演<br>「学習評価の基本的な考え方と実践」 |
|   |      | 10:45～10:55 休憩                           |
|   |      | 10:55～11:55 研究協議                         |
|   |      | 11:55～12:00 閉会挨拶                         |



※ 公開授業一覧は別紙に記載します。

- 5 参加申込み方法  
本校ホームページ (<http://www.e-net.nara.jp/hs/seisho/>) の「探究的な学びに関する授業改善シンポジウム」にあるイベント申込みフォーム「こくちーず」から、令和3年11月17日（水）までにお申し込みください。定員の先着180名に達した場合、早期に申込みを締め切ります。
- 6 オンライン配信について  
お申し込みいただいた方に「こくちーず」から接続先等のご案内を当方より差し上げます。
- 7 共 催 奈良県教育委員会

担当者  
教諭 生田 依子  
奈良県立青翔高等学校・青翔中学校  
電話：0745-62-3951  
FAX：0745-62-6662

## 【東洋大学 食環境学部 教授 後藤 顕一 氏によるご講演について】

**講演テーマ** 「学習評価の基本的な考え方と実践」

**講演内容** 数学や理科といった一般の教科での探究的な学びの実践とその評価について、また学校設定科目「探究科学」(理数探究)で、生徒の変容を客観的に見取ることを中心に、学習評価の基本的な考え方と実践についてご講演いただきます。



### 後藤顕一先生 略歴

1 所属 東洋大学 食環境科学部 教授

2 主要略歴

埼玉県立高等学校教諭、埼玉県教育委員会 指導主事を経て、

2009年 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 総括研究官

2017年より 現職

2019年より 日本化学会 教育普及部門副委員長, 学校教育委員会委員長

2020年より 東洋大学 教職センター長

2021年より 理科教育学会 理事

- 新学習指導要領作成委員 中学校 理科 高等学校 化学
- 高等学校「指導と評価の一体のための学習評価に関する参考資料」作成委員
- スーパー・サイエンスハイスクール運営指導委員を多数御担当  
奈良県立青翔高校、大分県立大分舞鶴高校、大分県立日田高校、福岡県立東筑高校、福岡県立鞍手高校、岡山県立玉島高校、香川県立観音寺第一高校、宮城県立多賀城高校、芝浦工大附属柏高校
- 令和2年度版 教育出版「中学理科」教科書 著者
- 令和3年度版 啓林館「理数探究基礎」教科書 著者

3 主要著書及び論文

#### ◎著書

- すぐにできる! 双方向オンライン授業 Zoom, Teams, Google ソフトを活用して、質の高い講義と化学実験を実現 2020/7/17
- 『資質・能力を育む高校化学—探究で変える授業実践』(共著), 化学同人, 2019
- 『中学校新学習指導要領の展開 理科編』(共著), 明治図書, 2017
- 『資質・能力』国立教育政策研究所編(編著), 後藤顕一他 東洋館出版社, 2016 など多数

#### ◎論文

- 後藤顕一, 新教科「理数」, 新科目「理数探究基礎」「理数探究」の意義とこれからの期待すること - 「化学」とのつながり, 高大接続を踏まえて-, 化学と教育, 67 (6), 133-136, 2019 など多数

## 【公開授業一覧】

教科 科目	数学（中学校） 数学	授業者	教諭 森本 春花	実施講座	中学校第2学年
テーマ	二次関数を日常生活に応用する取組とICT活用				
内容	具体的な事象を関数 $y = ax^2$ を用いて捉え説明し、関数関係を見いだして考察し表現する能力を養う。ボールの軌道を題材に、グラフ作成ソフトの grapes を活用し班で意見共有を行うことで他者と関わりながら課題を解決する。				

教科 科目	理数理科 理数生物	授業者	教諭 中井 秀輔	実施講座	高等学校第1学年
テーマ	暖かさの指数から日本のバイオームを推測し、考察記述の変容を見取る。				
内容	単元の学習の前後に「日本のバイオームの遷移の可能性」と「日本における同一県内の標高とバイオームの変化」について自分の意見をまとめ、他者と関わり、自分の考えを広げ深めることによって、課題を科学的に解決する。また、意見記述や共有の際にICTを活用するとともに、教員も生徒の記述の変容をICTを活用して見取る。				

教科 科目	学校設定科目 探究科学	授業者	教諭 生田 依子	実施講座	高等学校第3学年
テーマ	自己評価・相互評価を実施し、科学的リテラシーの向上と考察記述の変容を見取る。				
内容	「自分の研究の結果と考察を記述する」を課題として、評価規準を明示した上で、自己評価・他者評価を実施する。その上で自己の科学的リテラシーの向上を認識する。 自己評価・他者評価の進め方はHPに別途掲載。				

## 【研究協議について】

### パネリスト

東洋大学 食環境学部 教授 後藤 顕一 氏

奈良県教育委員会事務局学校教育課 指導主事 真井 克子 氏

奈良県立青翔高等学校 教頭 松山 吉秀

奈良県立青翔高等学校 公開授業の授業者 教諭 生田 依子 等

### 内容

探究科学・理科・数学の授業の説明

後藤先生から指導助言

奈良県教育委員会から指導助言

登壇者による研究協議